

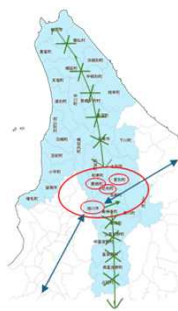
施策分野：食、観光、交通・物流、安心・安全

アクション：デジタル技術による豊かな食と観光資源を活かす安心・安全のスマート旭川＝AI旭川

上川中部 A

地域の状況整理

Where どこで



概略
高速・JR・空港等交通要所であり、河川の合流点、道東方面とのアクセスは良い
産業集積地（市街地）と周辺の豊かな自然・その恵み（米・酒等）食イベントが盛ん
スポーツ施設が充実（スキー、ゴルフ、球場、体育館他）しておりオリンピックメダリストを多数輩出

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されており、豊かな自然環境からなる農業、しっかりとした生活基盤の上にまちづくり（商工振興）や観光誘致に向けた政策が求められている。
全国共通の政策課題として、当地においても人口減少、若年層。産業の担い手の不足、空き家の増加等が挙げられている。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		生活基盤整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
質の高い農産物 稲作がさかん 米・日本酒・水がおいしい 米・野菜 雪、堆肥	大手企業がやってこない 地震がない地がある ⇒大手企業の工場誘致 シャッター街 ⇒新規開業 人手不足 デジタル ⇒ECサイト	旭山動物園 おいしいラーメン 食イベント 美味いものが多い 観光客の体験的なものが少ない インバウンドの客を含めホテルが少ない ワイン・ステーキ・P&C インバウンド呼ぶ インバウンド×地域通貨	デザイン都市（ADW） 結束力 旭川周辺のまちは元気がある 東川・東神楽 後継者募集 やりたい若者が事業の引き継ぎ 人手不足 ⇒外国人 ⇒国際交流化	人口減少 人手不足 人口流出 後継者募集 やりたい若者が事業の引き継ぎ 人手不足 ⇒外国人 ⇒国際交流化	自然 森林 四季の変化がはっきり（楽しめる） 川が多い ⇒ウォーターフロントの開発 カーボンニュートラル ⇒ゴミの増減 ⇒循環型地域 雪の冷熱利用 ⇒データセンター等の誘致	北海道東2の都市・旭川 定人の人口・生活環境 札幌につながらる道路、鉄道 空港から市街地まで距離近い 車以外の移動手段が少ない バスの本数、タクシーの台数が減ってきている 自動運転ライドシェア	地震が少ない 水害のおそれ（川が多い） 除雪が札幌に比べ行き届いていない 除雪・排雪 人員不足 無人除雪システム開発	学校（大学）が少ない 学生が多いので学生の活躍の場を 人口減少 ⇒きめ細かい教育	病院が多いしレベル高い

How どのように

When いつ

How どのように

具体的な活動	1年 2026	2年 2027	3年 2028	4年 2029	5年～9年 2030～2034	10年～ 2035	20年～ 2045	目指す地域の姿
①ダンスを通したまちづくり	チームづくり・事業計画の事業づくり	高校インターハイ資金あつめ			ダンス大会優勝	ダンスといえば旭川メッカへ魅力的なコンテンツへ		- 人口減少が進んでも住まわれている方の暮らしが便利 - 観光客の方が安心安全に楽しむことができる - 空家が増えても地域の景観が保たれる - 外国人労働者も安心して働ける - 効率的な仕事で時間ができる - 文化活動や趣味などに力を入れられる豊かな生活
②地域農産物を活かした食をデジタル技術を活かして提供		ニーズ調査システムの検討			普及展開	随時更新		
③空家を民泊を活用し、観光客に泊まってもらうマッチングシステム		アプリ・システム開発						
④スーパーアプリの開発（観光、交通、道路、空き家民泊、EC決済、多言語対応、医療）	事業計画の事業づくり・チームづくり	郊外部で実証（占冠・いねふぐ...）			実装化高速道路	普及		
⑤デジタル技術を活用した交通手段（ライドシェア、自動運転バス等）		旭川空港で実証			での実証	高速道路で実装化	一般道へ拡大	
⑥除雪の自動運転化		誘致活動			建設			
⑦データセンターの誘致						本格稼働		

アクションプラン

Who だれが

	チームメンバー	サポート
システム系 (アプリ・ダンス・空家)	・アプリ開発会社 ・ダンス部、各校ダンサー ・不動産会社 ・JA ・観光協会	・商工会議所・旭川医大 ・旅行代理店・ダンススクール ・医師会 ・農家 ・空家所有者
自動運転系 誘致系	・開発局・道・自治体 ・自動車メーカー ・除雪業者 ・バス会社・タクシー会社	・国交省、運輸局 ・北海道電力・ボーリング会社 ・測量設計会社 ・北海道エアポート ・NEXCO東日本 ・警察

実施体制

Whom だれに

～未来の地域づくりの担い手～
地域内：そこで暮らす人・子ども・高齢者層・交通弱者（車を運転できない人）
地域外：観光客・移住者・外国人労働者
（食の）消費者

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？

・人口が減ったとしても、住人の暮らしを守る
・暮らし続けるためには、外から人を呼び込む（観光客、移住者） → かせぐ
外国人、
豊かな暮らしを実現する

ビジョン

施策分野：食、観光

アクション：地域密着型スポーツチームと観光資源を活用した食リンピック

上川中部B

地域の状況整理

Where どこで



概略
旭川駅や旭川空港といったゲートウェイがあり、周辺の美瑛や富良野といった観光地の玄関口を果たしている。食べマルシェなど食に関するイベントが多い。水田が多く稲作が盛ん。道北の中心都市であり経済・医療・教育などの機能が集中。市民運動が盛んである。

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。地域の強みである食（農業）やスポーツを活かすべき。著名な観光地である富良野・美瑛を中心とした食と観光産業の活性化を図る。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
強み 産業・米 大工 農作物が豊か 農業 米作り 自然が豊かで 農業がさかん 雪で貯蔵庫 (例) キャベツ 個人旅行を推奨 体験型の観光	寒暖差のおかげでお店が作れる 農泊 お店もできる 長期滞在の拠点になる 長期型旅行に誘 (長距離) 計画（旅程）を立てやすい 観光客がすごしやすい	観光資源が豊富 (交通インフラ含め) 自然が多い →アウトドア 紅葉、登山、堪能できる 美瑛・富良野など外国人観光客の増加 動線が限られている（PRポイントをしぼりやすい） 知らない町が多い（新規PR） 観光ルート形成（道北一？）で	障がい者スポーツ 全国の人たちが集まってくる町がつくられた ウィンタースポーツ 冬だけ移住する人もいる 避暑地になる サイクルツーリズム		自然の多さ どこでも空いている 空家を利用できる (人口減) 空き家×長期滞在 空き家への移住促進 雪を冷房に活用 スローライフを過ごせる	交通インフラが整っている 旭川空港の就航率 首都圏札幌へのアクセス 雪を冷房に活用	災害が少ない 地震が少ない 大規模な災害が少ない 災害の少ない 一企業誘致		穏やかな時間を過ごせる (人口減・高齢者)

アクションプラン

How どのように

具体的な活動	～3年	～5年	6～10年	11年後
①【農業×教育】	誰が進めるか検討	食リンピック初開催	道内で持ち回り開催	全国
②【スポーツ×教育】	連携等	ボランティアのような形でボレアスに参加してもらう	旭川のご当地料理を作る	農業体験者・学生が増える
③【スポーツ×観光】	冬季スポーツを活用した修学旅行	ふぞろい野菜クッキングスポーツ対決	農家さんの商品PR	
④【農業×スポーツ】食リンピック	修学旅行生が体験してみる Eスポーツの取り組みを広めていく	ご当地料理を作るためメニュー開発		

When いつ

How どのように

- 2035年 目指す地域の姿
- 旭川周辺の農家や農作物を盛り上げたい
- ・食リンピックといえば旭川
 - ・知名度アップ
 - ・旭川周辺の人のお金が潤う
 - ・農業者に若い人が増える
 - ・時間があるから旭川に行こう！
 - ・スポーツゲームを活用して農業をPR
 - ・Eスポーツのプロリーグ
 - ・食で作った食リンピック料理をお店で出す（ご当地グルメ）

実施体制

Who だれが

コアメンバー：イベント企画会社、民泊業者、旭川農業高校インフルエンサー、DMO、プロスポーツチーム、ボランティア

サポート：交通事業者、飲食店、農家、加工業者、飲食販売業、宿泊業、学校関連、マスコミ、観光協会、信金、国の各省庁、旭川開建

Whom だれに

旭川周辺の農業者
旭川市民
全国
全世界

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？

旭川を盛り上げたい
地域の活性化
人口増加？維持？
農業の担い手を見つける
旭川の食を知ってもらう
新たな旭川の可能性をひきだす
観光客の増加

施策分野：食、観光、交通・物流
アクション：魅力体験・情報発信プロジェクト

上川中部C

地域の状況整理

Where どこで



概略
自然豊かな雪はウィンタースポーツに最適でスキー場が近場に豊富、景観は豊かで広大な自然を有する
北海道2番目の人口を持つ旭川市の都市機能、道北地域の中心都市、比較的札幌市にも近い米、木材、温泉、観光（動物園、層雲峡、美瑛など）
大雪DMOや女性のつながり促進団体の活動も見られる

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。
豊かな水田や木材産業等の特徴的な産業を基礎としたまちづくり（商工振興）や観光誘致が重要である。
食と観光を結びつけた体験型観光や、年間を通じたスポーツ振興なども期待される。

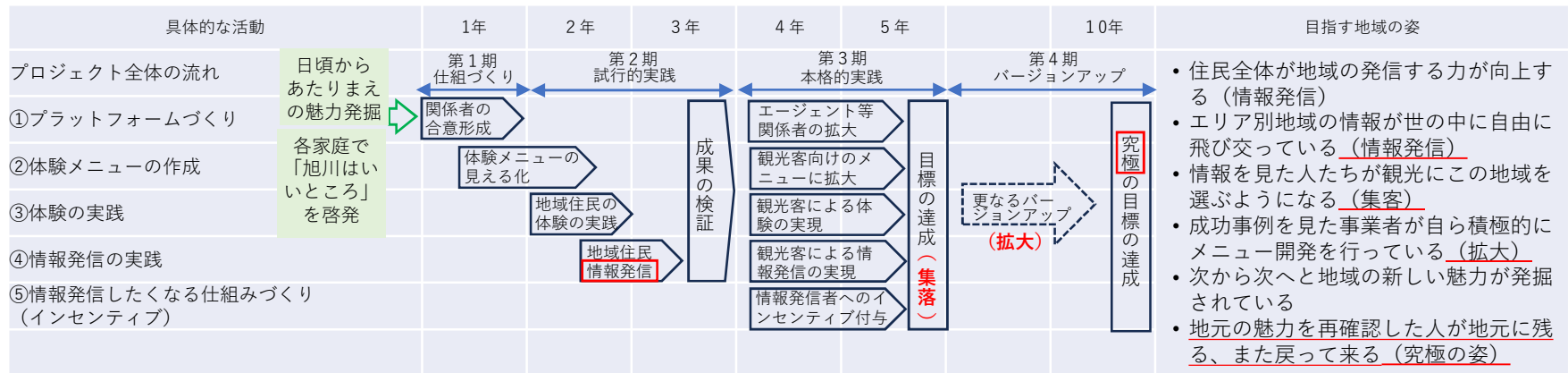
アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備			教育・医療	
農林水産	商工	観光	文化・コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
豊かな水田地帯 木材 家具等特産品の有する	都会とは違う遊びや場所を作る 空家・店舗利用	ニセコよりも雪質が良くウィンタースポーツに最適 東神楽の旭川空港中心に、観光アクセスの良い旭岳、美瑛の丘層雲峡 動物園、ダム、青い池、きのこの温泉がある 航空路線が増加 外国人観光客の回復 除雪見学真夜中ツアー 除雪体験	日常的なつながりが強い（学生・教師など） 女性のつながり促進団体ノースコネクション 心のつながり 女性が活き活きとこぼさないまちづくり 大雪DMO オリンピック選出 プロスポーツ選手	若者が挑戦 大雪山、十勝岳に囲まれた自然豊かな土地 旭川市の都市機能 比較的札幌市にも近い 空港・鉄道 高速道路がある 1市8町で連携中核都市圏を構成 アクセスが良い 過疎エリアで自動運転力の選手を育成	雪が多く市町村では除雪の遅れがある 旭川市の都市機能 比較的札幌市にも近い 空港・鉄道 高速道路がある 1市8町で連携中核都市圏を構成 アクセスが良い 過疎エリアで自動運転力の選手を育成	消防は旭川消防 旭川市にユニークな学部を設置 合宿地 バスストップ バス路線 観光 高齢者に優しい町			

アクションプラン

How どのように

When いつ

How どのように



実施体制

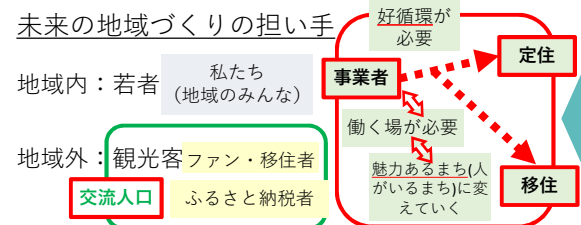
Who だれが

主体 旅行会社、ノースコネクションを中心に、DMO、スポーツ団体、大学（学生）、町おこし協力隊（この目的に特化）
+ JA・農家、行政（サブ主体）

サポート 民間（飲食、酒蔵、スポーツ施設、木工事業者、交通事業者）、教育機関（小・中・高・大）、メディア（ライナーネットワーク：ケーブルテレビ、道新）、住民（農家）、団体（観光コンベンション協会）、金融（旭川信金）、行政（国・道・市・町：全面的協力）

ビジョン

Whom だれに



Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？
若者を中心とする地域の人々自らが、地域の魅力を体験し、情報発信することにより、地域に対する誇りや愛着が生まれ、結果として地域に残ったり、戻ってくる人が増えるような社会づくりを目指すもの。

シビックプライド

施策分野：食、観光、脱炭素、安心・安全
アクション：観光×食×αの地域づくり

上川中部D

地域の状況整理

Where どこで



概略
米作など恵まれた農業、旭川空港、旭川駅、旭川十勝道路など交通の要衝、雪が多く地震が少ない気象環境、大学や医療施設が多い都市、食ベマルシェ、愛別きの祭りなど食のイベントが多彩、東川の写真甲子園や旭川冬まつりなど様々なイベントが開催されている

What なにを

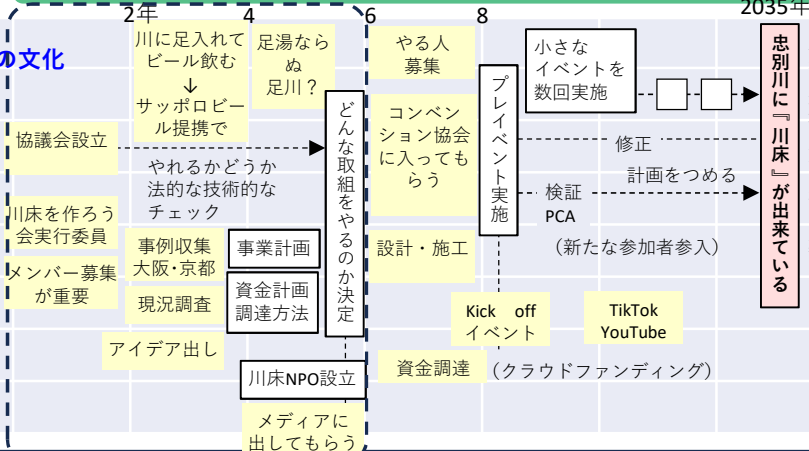
概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。豊富な農産物や日本酒、家具など、農業、商工業、観光で「稼ぐ」。災害が少なく、高い医療教育環境を持つ、ほどよく「暮らし」やすい。周辺連携が進みやすい。都市機能と自然の調和を図っていくべき。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
豊富な農産物 食べ物がおいしい 移住は多い 食が豊か 米の需要増	酒蔵がある 移住は多い 空家の民泊	韓国・台湾と流行ある 空港から下(高良野方面)に行ってしまう 体験できる観光が少なくない 知られていない 伸びしろ有!	屯田祭り多数の人が集まる 食ベマルシェ 冬まつり 愛別きのこまつり デザイン都市イベント 東川・写真甲子園 地域への関心を高めていく	オンライン化でどこでも仕事ができる人が増えた	豊かな自然 雪が多くて寒い 生ゴミの再生利用がまだ少ない ムダ・ロスもゼロにするチャンス 若者が旭川をしょぼい街と書っている 魅力度UPしたい	都市機能と自然の調和 交通・物流中継地 車が必要 車がなければどこでも行ける! 周辺連携が進みやすい 丁度良い町	災害が少ない	大学があり高い教育環境がある 少子化 人減少 豊富な食を活用。子どもも食糧など ほどよく住みやすい	医療施設が多い 人がやさしい 高齢化

How どのように

具体的な活動
忠別川
川床は日本の文化
川床 川めぐり etc.)
川のマチの魅力UP(かき、川床、川めぐり etc.)
食をもっとPR(勝手井、利き醤油、マルシェ etc.)
wildな自然を活かす(農家で雪遊び etc.)
※産業振興の視点での取組(デザイン、木材 etc.)
これはインバウンド向け
安全安心・充実した環境での豊かな暮らし
脱炭素de地域づくり

When いつ



How どのように

目指す地域の姿
・デザイン要素のある、「川のマチ」としての資源が活用されている
・食を活用した地域となっている(ラーメン村みたいな...)
・食を楽しめる拠点が来ている(季節ごとに)
地域の未来のために
自分たちが当事者。10年後を考える

Who だれが

主体：旭川市、開建、民間参入
木材事業者、農業・生産者
サポート：動物園、飲食店、
ライナーネットワーク(地域情報誌)、
コンベンション協会
市民団体・NPO、YouTuber、文化団体

Whom だれに

自分たち
子供たち
農家
産業の担い手
地域のために
生ゴミの循環。(札幌でやっている)

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか?
地域の活性化
市民生活産業維持活性化
住んでる人の幸せ
外貨を稼ぐ
子供たちのために。寂れないように
次の世代に魅力ある町をつなぐ
子供のために
食品ロスをなくす。地域の未来のために

実施体制

ビジョン

施策分野：観光、暮らし
アクション：暮らし密着・ごった煮観光プロジェクト

上川中部E

地域の状況整理

Where どこで



概略
旭川空港、JR、高速道路など交通の要所
地震が少ない
公共事業
生活インフラが充実
スキー場、動物園
食べマルシェや3、6まつりなどの地域イベント、活動が盛ん

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。
農業、酒造、田園風景などの地域自然を活かした産業振興と観光振興。
有名なスポーツ選手が多いが特色が分からない面も。海から遠く、自然災害が少ない。
人口流出はあるものの、関係人口は増えるのでそれを活用すべき、

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化・コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
農業しやすい 農耕放棄地増加	酒造がたくさんある 食べ物おいしい、安い 食はずれなし 企業誘致 リモート勤務 ブランド化	山がキレイ 豊かな自然 田園風景 観光地時期は多い 景色が映える 空港へのアクセス良い 航空の便 アクセス良すぎて人がとどまらない インバウンド増加 雪は観光資源	有名なスポーツ選手多い(金メダル多い?) 自立心が弱い? 何が特色かわからない PR不足? まだまだPR要素がたくさんある	Uターンが多い 担い手不足 人口流出(札幌圏) 地域おこし協力隊 仕事がある 人口流出＝関係人口は増える	雪が多い 寒い 夏暑いのに冬も寒い パウダースノー 話題性 最低気温更新 スキンスノーができる 雪が一面にだけなくグリーンズムが楽しめる 全てが特色(水津以上のもの) 空き家がある	アクセス良い 生活に必要な 道内でのアクセスが悪い 大規模としが近くにある ドライブ 雪が一面にだけなくグリーンズムが楽しめる 全てが特色(水津以上のもの) 空き家がある	自然災害の少なさ 海から近い 津波の心配はない	悪いニュースが多い	高齢化 高齢化＝純粋世代の生き方、ロールモデル

アクションプラン

How どのように

具体的な活動	現状 2025年	1年目 2026年	3年後 2028年	5年後 2030年	10年後 2035年
①既存観光イベントに住民参加、企画段階から住民参加できるような仕組みづくり	イベント参加				
②住民参加による新規観光イベント企画会議(仮)開催、イベント開催		企画会議 イベント開催	観光イベントの整理・見直し		
③行政や観光協会が主体となる広域連携の仕組みづくり		チームづくり・事業設計 広域連携			
④広域連携による地域ブランディング、観光PR		地域ブランディング検討・施行	観光PR		
⑤					

When いつ

How どのように

目指す地域の姿

- ・地元肯定感の増加、幸福度
- ・観光客が増える、リピーターが増える、移住者が増える
- ・自信↑、人↑＝活力↑

グローバル視点で!

Who だれが

主体：推進会議（住民、行政、観光協会）
サポート：農業生産者、食品加工・製造業者、除雪事業者（建設業者）、交通事業者、スポーツ選手、文化団体

ビジョン

Whom だれに

未来の地域づくりの担い手
地域内：生徒（学生）、ファミリー層、移住者、老若男女
地域外：国内外観光客

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？
地域の暮らしに密着した観光メニュー・イベントをつくる。

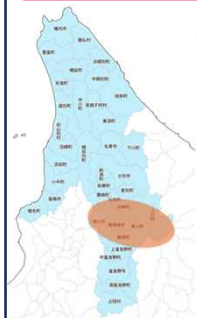
取りこぼしのない暮らし
まちのみ●の継続(発展)
自分達が楽しく・前向きに
自慢できるまち

施策分野：観光、暮らし、脱炭素、安心・安全
アクション：散走（自転車）生活

上川中部F

地域の状況整理

Where どこで



概略
大雪山、近隣8市町村での連携（上川、美瑛、旭川市など）
農業施設の管理（1市2町に水を配給）、消防やごみの連携（東川、美瑛、東神楽）
林業が盛んな当麻町周辺、地域おこし協力隊などの活躍

What なにを

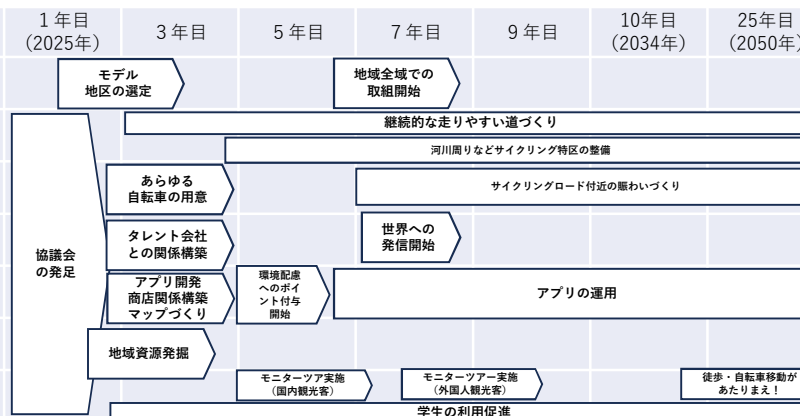
概略
美味しい水と米を用いた酒どころ、層雲峡などたくさんの温泉地といった地域自然を活かした「稼ぐ」地域づくり。
自然豊かな大雪山や雪を活用した再生エネルギーを用いた「暮らす」地域づくり。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化・コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
食の生産 おいしい水とお米	酒どころ 空家などがあるため何かをできる場所がある	層雲峡温泉などのたくさんの温泉地 北海道であることが魅力 観光で訪れる人が多い	人口が減少していない地域もある 顔がみえる・わかる地域がつくりやすい	地域おこし協力隊制度	自然豊かな大雪山 冷涼な気候 雪（めずらしい景色） 思っていたよりは雪がふらない 再生 エネルギー（水力・地熱）	旭川空港 JR バスの維持が重要		旭川に大学がある	

How どのように

具体的な活動
モデル地区から地域全域での拡大
道づくり
環境づくり （駐輪場・荷物預かり・自転車の貸出など）
SNSなどでの自転車生活のリアルな情報発信
アプリケーションの導入（通貨・距離・情報）
自転車と観光資源との連携
利用者

When いつ



How どのように

目指す地域の姿
・住民の自転車の利用による健康寿命の延伸 ・自転車旅行の魅力の向上による観光客の増加 ・自転車で新たな魅力を発見され、それが発信される ・地域通貨が利用されていくことで、地域経済が活性化 ・車の上に自転車を置いて移動、途中から自転車移動 ・低炭素社会の実現

アクションプラン

Who だれが

主体：市町村、観光協会
協力：アプリ開発・運営会社、商業店舗、学生サークル、インフルエンサー、世界に情報発信できる人、日常的に自転車を利用する人(学生も)、観光資源の管理者
福祉関係の団体、国

ビジョン

Whom だれに

未来の地域で暮らす方々
地域内:学生（中学生）、多様な人（移動しやすい空間になって、住みたいと思う）
地域外:外国人も含めた観光客

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？
・みんなが健康で元気に暮らすために
・どこにでも移動しやすくするために
・住みたいところに住み続けるために
・低炭素社会を実現する
・観光客の移動をスムーズにするために

実施体制

施策分野：観光、暮らし
アクション：新しい教育の形

上川北部B

地域の状況整理

Where どこで



概略
豪雪厳寒地帯。寒くて雪質が良く、ウィンタースポーツに適している。天塩川を中心に天然素材が豊富な地域。南北に長い集落が点在し、二次交通に課題がある。
まちづくり、移住に関係する地域活動が盛ん。
中心都市の名寄市には大学、自衛隊などが集積。

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。ウィンタースポーツなどで客単価を上げて地域の「稼ぎ」を増やす。Nスポーツコミッションを中心とした関係性の構築。
地産地消を進め、CO2削減に貢献。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興	文化・コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
農林水産	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
第一産業	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
農業が国策に左右されがち	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
消費人口少ない・働く場所がない・産業が国策に左右される・特産品不足⇒外向けコンテンツにシフトチェンジ？	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
起業しやすい	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
時間・空間に余裕がある	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
消費人口少ない・働く場所がない・産業が国策に左右される・特産品不足⇒外向けコンテンツにシフトチェンジ？	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
特産品が不足	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
シルクースノー	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
ニセコ〜富良野〜？	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
ニセコに富良野？	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
インバウンド	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
移動が不便⇒道中のコンテンツを楽しむ	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
道中のコンテンツを楽しむ	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
道中ツアーのバックパッカー化（続かない）	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
見える関係性のつよみ	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
Nスポーツコミッション	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
人情味	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
海外人材	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
リスケリング	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
高齢者働き手	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
若者が働く場所がない	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
雪日本一世界一かも	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
ジャンプ台	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
アルペン・ジャンプ・ロカン種目選手がいない	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
自然豊かな	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
空気がうまい	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
インフラ未発達地域⇒離れた名所へ	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
地産地消	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
カーボン・オフセット	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
新技術発達	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
町外からのバックカントリーが増加	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
CO2削減	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
新しい教育の形	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
福祉事業所	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		
病院がない⇒健康的	観光	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療		

How どのように

ふるさと納税の活用
(企業版、SDGs)

When いつ

How どのように

具体的な活動		⑤と統合	現在	1年	2年	3年	4年	目指す地域の姿
①	ビジネスとの接点を作る(産業、スポーツ)		実施中	拡大				
②	プロジェクト・ベースド・ラーニングを軸とした教育		誰が何をしたい？ 年代への調査・プラン マッチング			稼ぐを学ぶ		
③	学生による起業サークルを創る				経験してもらおう		商品開発	
④	アナログを大切にする ⇒商店街などが教室として活用				事業計画を創る	出資者をさがす		
⑤	誰でも先生になれる (年代に応じて)				企業PR	協賛金出資		
⑥	予算を獲得する	地域への思い	ボランティア		行政がかかわる	チームマツリ	コンソーシアムづくり	
⑦	その他(料理教育、オンライン)							
								・高校進学で出て行かない、定住を促進する ・子どもの個性(多様性)を育てる ・地元を好きになってもらう ・創造できる、学べる地域として、消費・作る喜びを共有する

実施体制

Who だれが

メイン

農協 商工会 商店街 教育委員会 OCCO SIYA (地域団体) ファシリテーター

協力

NPO 観光協会 信金 地域企業 高齢者 町内会 コーディネーター メディア SNSの発信

ビジョン

Whom だれに

子ども達(小・中・高) 地域に住まう人々 企業

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？

地域への思い⇒すりこむ!! 地域を出て行っても紹介してもらったり、メディアに取り上げてもらう 助けてもらった育ててもらった愛情 暮らしの選択肢を広げる 居場所づくり シャケ戻ってマスの

施策分野：食、観光、脱炭素、暮らし、交通・物流

アクション：自然エネルギー（再生可能エネルギー）を活用しCO2を出さないラストワンマイル観光・暮らしプロジェクト

上川北部C

地域の状況整理

Where どこで



概略
名寄市：生産量日本一のもち米。
煮込みジンギスカン。
下川町：フルーツトマト、手延
麺、スキージャンプ、サンルダ
ム。
極寒地域で、雪質日本一のピア
シンスキー場。
1市3町による着地型観光推進協
議会など地域連携も多い。青年
団体の活発な活動が見られる。

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満
遍なく政策整理が記されている。
豊富な食資源による農林水産、養殖
ビジネスなど商工業、寒さを活かし
た観光振興などで「稼ぐ」。オー
バーツーリズムにならない「秘境」とし
てのPRもあり。
地震が少なく安心した「暮らし」を
提供できる。森林資源を活用したCO2
削減への貢献。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化 コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
農畜産物が おいしい	サンルダムの 人的資源 活用が特徴	豊かな自然 Rレイ (車庫)	移住者が多 くいる	若者も起業 しやすい	オーバーツー リズムになら ない 秘境みたく	旭川⇄成田 間の格安航 空 Amazon 次の日に届 くように ネットが 速い	地震が少な い 住みやすい	下川商業バ スケットが 強い	終活ビジネ スのチャン ス
豊富な食資 源	養殖ビジネ スの開発	映える風景	若者を中心 とした連携 が強化され てきた	高齢者だか らできる作 業	再生可能エ ネルギー	天然の冷凍 庫ができる			増活サミッ トの開発
	自動車会社 企業誘致	より外国人 や観光客が 遠征に 寒さ体験		農場が多い 新規就農		ドローン			
	自動車会社 に協力 (技術)	寒さを活か したイベント による交流人口 増加人口	ラストワン マイルが必要	自動運転で 稼働	きれいな 空を眺め ながら	格安航空 をつかって			
次交通 が不十分		EV・ 自動運転 導入		住民の 送迎も					

How どのように

名寄・土別・下川・中川
を対象にして連携

When いつ

目標達成

How どのように

目指す地域の姿

具体的な活動	事業全体設計
①再生可能エネルギーを活用したラストワン マイル・モビリティの実用化 ・地域立地の自動車メーカー(テストコース)の ICT技術等との連携(協定締結)、支援体制構築 ・ラストワンマイル・モビリティ(自動運転EVコ ミュニティバス等)の実証試験・実用化(自動除雪を含む)	組織 体制・役 割・ス ケジ ュー ルの 決定
・再生可能エネルギーの地産地消システム開発	
②再生可能エネルギーを活用した意識高い系 観光客誘致 ・再生可能エネルギーを活用した地産地消のメ ニューやフードロスのないメニューの開発 ・再生可能エネルギーによるまちづくりを説明 できる人材(アウトドアガイド)育成	

2025		2026 ↔ 2027		2028	2029 ↔ 2030	
組織体制・役割・スケジュールの決定	計画策定 (地域選定)	連携協定締結			(SDGS目標年)	
	事例視察 (茨城県境町、土上幌町等)	自動車メーカー、システム開発会社・地域の交通事業者との連携協定締結				
	補助事業申請 (経産省:次世代型太陽電池実証事業(王子マテリア跡地活用)、クリーンエネルギー自動車導入促進補助金等)	選定地域における運用基本計画策定(ルート選定、運行計画、住民説明会等)			一部運用 (実証試験) (自動除雪含む)	本格運用 他地域への適用
		付帯して自動運転除雪機による除雪計画策定			定置用蓄電池・EVステーションの整備	
2025 ↔ 2026 ↔ 2027		2028 ↔ 2029 ↔ 2030				
計画策定 ・体制検討 ・役割分担		ニーズ調査 連携協定 (産学官民)		メニュー・レシビ開発 ・試食会 ・道の駅販売	宿泊施設提供 (ホテル・旅館・民泊等) 情報発信	新レシビ開発 (利用者アンケート実施→改良・繰り返し)
事業計画 人材募集		育成のためのスキルアップ (公的資格取得支援)(地域での自主活動・環境問題意識醸成)				実践 ガイド活動

・高齢者などの交通弱者や移住・就農者
が安心してくらせる地域(ラストワン
マイルモビリティの確保)→生活基盤
が整った快適に暮らせるまちづくり
によるコミュニティの維持、移住・新規
就農者が安心して生活できるビジョン
をもてる住みやすいまちづくりの実施
・意識高い系観光客(持続可能な未来へ
向けた環境問題:クリーンエネルギー、
フードロス、SDGS等への意識や関心が
の高い層)を地域に呼び込み、他の観
光地にはない魅力の発信により、交
流・関係人口を増加し地域振興を図る

Who だれが

実施体制

①主体 ・名寄市役所 ・土別市役所 ・中川町役場 ・下川町役場 ・バス事業者 ・ハイヤー	②サポート ・北海道開発局、経済 産業省、北海道運輸局、 新エネルギー・産業技 術総合開発機構 ・自動車メーカー等 ・自動運転EV事業者(・ 金融機関(北星信用金庫 等))	②主体 ・名寄市立大学 (コミュニティケア、 栄養学科) ・生産者 ・農協婦人部 ・旅館・民泊業者 ・商品開発事業者 ・アウトドアガイド	②サポート ・名寄市役所 ・土別市役所 ・観光協会 ・地域のインフル エンサー、ユー チューバー ・マスメディア (新聞社、地元FM 局)
--	--	--	--

ビジョン

Whom だれに

①高齢者 等交通弱者 (地域内)	①意識高い系 観光客 (地域外=)	①従来型の 観光客 (地域外)	②意識高い系 観光客 (地域外)	②旅館業 (地域内)
①運転に不 慣れなイン バウンド客	①交通事業者 (人手不足)	①郊外部の 居住者 (地域内)	②移住者 (地域外)	②若者 (地域内)
①初心者 マークの人 (地域内)	①インバウ ンド客の事 故を減らす	①習い事 タクシー (地域内)	②児童生徒 (地域内)	②高齢者 (地域内)

Why なぜ

①高齢者などの交通弱者や移住・就農者
が安心してくらせる地域づくりしたい→コ
ミュニティの維持、快適に暮らせるまちづ
くりビジョンをもてる地域づくり
②他の観光地にはない魅力の発信により、交
流・関係人口を増加したい
③ターゲットを環境問題への意識が高い系と
設定→高付加価値なサービスの提供に見合う
適正な対価の収受→関連産業の収益増加

施策分野：観光、暮らし、交通・物流
アクション：道北“はとバス”ツアー

上川北部E

地域の状況整理

Where どこで



概略
道北の中心部
自然：天塩川、名寄川。台風や地震などの災害が少ない。夏の大きな寒暖差
交通：日本最北の高速IC（士別剣淵）、宗谷本線、国道40号
地域産業：飲料、化粧品、もち米、放牧酪農、木工、ワイナリー、クラフトビール、サフォーク、北大研究村

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。天塩川など手つかずの自然や星のきれいさ、オーロラなど、他の地域にはないコンテンツで観光客を呼び込む。担い手不足をDXのチャンスと捉え、やりたい人は就業できる環境を構築。災害が少なく安心して暮らせることをPRし、若者の移住を呼び込む。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
牛肉生産量が多い 農作物が豊富 もち米 面積日本一 サフォークが有名な土着 気候変動と農業的にはチャンス	車のテストコースあり 最北のワイナリー 森臥 クラフトビル 木工 樹液が商品化されている 雪の運転大変 ゲストコースで教育	ウィンタースポーツが盛ん 天塩川手つかずの自然 カヌーで下れる クワッドボート星がキレイ なよろ天文台 近年、オーロラが観測された インバウン ド（外国人観光客）の増加	実入多い NPO法人森の生活（下川町） （一社）ちいさなじいのものがたり（下川町） パワースタッフ協会 何をやっても目立ちやすい 目立ちたがり屋にはいい	独立したい人の支援多い 担い手不足 やり手不足は就業できる 人手不足 DXのチャンス	森林収収（多面的機能） 第1回SDGsアワード大賞 下川町 北大研究村	交通量が少ない どこに行っても空いている 広大な土地 0円物件に任せる	災害が少なく安心して住める 除雪がしっかりしている ロシアの脅威 自衛隊で安心	名寄市立大学所在地 空き家が多い 若者移住に0円物件はいかせる	総合病院（名寄）

アクションプラン

How どのように

具体的な活動
道北各地の魅力の洗い出し
100プランの設計 ← 目標
スタンプラリー等、参加者を増やすための規格の設計（参加者の獲得）
モニターツアーの実施
各プランの設計
プランの検証

When いつ

1年目	2年目	3年目	4年目以降	10年	20年後
チームづくり 関係者協議	1プラン（モニターツアー）設計	子どもをターゲットにスタート	ターゲットを広げ、さらなるプラン設計	主催となる団体の設立（組合等） 団体が収入を得るしくみの検討	100プラン達成 最初のプランに参加した子どもたちがガイドに 組合が自立して事業可
	ツアーに向け子供たちに道北の地域学習		ターゲットの拡大・参加者の獲得	事業見直し（10年目）	
			検証（適宜）		

How どのように

目指す地域の姿
- 地域の魅力をPRする地元人材の育成により、より地域の魅力の発信へ - たくさんのプランに参加することで、より深くその地域を「知る・伝える・案内する」人の増加

実施体制

Who だれが

主催者：各市町村、教育委員会、観光協会、バス会社、バスガイド、地域にくわしい住民、地域おこし協力隊
サポート：商工会、各プラン内容関係者（農業従事者、スポーツ団体、アウトドア愛好家など）、宿泊事業者、国、道、姉妹都市、地方紙、地元雑誌、航空会社、雑誌などのメディア、SNS発信者

ビジョン

Whom だれに

地域の子供母子子どもたちのために
そこに住む人たちのため
地元外の人たち

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？

人口減少の緩和 → 関係人口を増やす → 地域力の向上
知ってもらい移住、定住 → 地元の魅力を未来につなぐ → 未来に地元の事を知ってもらったえていく → 新しい文化の創生 → 地元愛を育てる

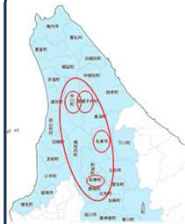
施策分野：観光、交通・物流

アクション：札幌方面からの観光客を名寄周辺で周遊プロジェクト（都市間高速バス問題）

上川北部F

地域の状況整理

Where どこで



【概略】

- ・国道40号沿い、JR、高速バス、交通の便が良い。降雪量が多くウィンタースポーツが盛ん。
- ・メイン産業は酪農と林業。
- ・移住者を中心に木工品に力を入れている

中川、音威子府、美深、名寄、和寒、旭川

What なにを

【概略】

- ・地域の特色であるもち米や麦、林業を活かした農林業振興は現状まだ知られていない、**伸びしろがある**。
- ・中川町では地域おこし協力隊の移住が増えており、**新しい発想やコミュニティ形成も期待**。
- ・一方、音威子府高校など構築した**関係人口を維持し、いつか戻ってきてもらう工夫も必要**。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興			交通拠点整備		環境・ハード整備			教育・医療	
農林水産	商工	観光	文化コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
農産物が豊か → 新規に事業が参入しやすい もち米の生産全国1	店舗が少ない → 新規に事業が参入しやすい 飲食店の跡継ぎがない → 後継に親戚がある人はいれば、移住・定住につながる	寒い地域ならではの活用したイベント、特産品 観光資源を活用した観光客の関心人口の増加につながる取組 雄略峠以北の認知度の低い状況 → インバウンドのチャンス！ 音威子府～中川まで車で30分、バスも通っていない → バイクなどのツーリング需要があるのでは？	地域おこし協力隊の移住者が増えている（中川町12名）	人口流出 → 人を受け入れる余力がある。空き家が多い。土地も空いている。好きな広さ、場所で購入することができる。	自然が豊か 国内最大級の魚が釣れる（天塩川、イトウ） 標高が高い地点でバードウォッチング（中心部でも！）	交通の利便性が高い		音威子府高校の卒業後転出して15年間育んだ関係人口、その後転出して戻ってきてもらう。なまは恵み出で遊ばせてほしい。	介護施設の老朽化の建替え。→ 社会福祉。子育て支援を充実し福祉のまちづくり。
酪農 良質な木材がとれる	スマート農業の導入	もち米が知られていない → 伸びしろがあるため土台ができていく。							
					強み				
					チャンス				
					SOSO転換				

How どのように

When いつ

How どのように

アクションプラン

具体的な活動	現状 2025年	1年目 2026年	2年後 2027年	3年後 2028年	4年後 2029年	5年後 2030年	10年後 2035年	目指す地域の姿
①コンテンツの発掘と魅力的な観光ルートの検討	現状把握（資源・現ツアー）	ツアー検討（組み合わせ）	事業企画・予算化				目標 達成 （回避道以外）	・周遊が定着することによりニーズが高まり、 バスの便数の増加 につなげる ・道北の 市町村全体が連携 して一体となった観光ができると 全国的にもないものになる ・ 空き家などの活用 できる資源がわかることで、地域おこしなどの活躍につながる ・「道北」 ブランド として市町村それぞれが「道北」の 仲間意識 を持つ、他のまちの魅力を話せるようになる
②周辺市町村で連携し、まちごとの季節の魅力、資源を教え合う機会づくり	関係構築、プロジェクトチーム組成	勉強会、団体の連携・コーディネート		本運用＋補助申請				
③雪で道路が止まるなどがあった場合も楽しめる 回避道の確保 （さまざまなルート・コンテンツを把握）		高規格道路の延伸検討（回避道も）・整備 ※10年後以降の長期間で検討継続						
④道内・道外への積極的な 周遊観光のPR		各媒体での発信（TV、新聞、SNS等）						
⑤周辺市町村で連携した 宿泊情報の共有 （空室情報）		情報共有（即時性・更新）	関係者に共有					
⑥空き家を活用した ゲストハウス等の用意		プライベート空間等を整備（インバウンド向け）	順次、整備・展開					

Who だれが

主体：観光事業者、地域おこし協力隊、各自治体の観光まちづくり協会等（商工会含む）
サポート：農林事業者、飲食（道の駅等）、宿泊（ゲストハウス）、交通、大学・学校（芸術・看護）、新聞、インフルエンサー、移住者、周辺自治体や地銀・信金等

ビジョン

Whom だれに

未来の地域づくりの担い手

地域内:体験型プランを通じて就業希望（農業・林業等）の住民の方、官民まちづくり活動グループ
地域外:札幌圏域の市民（多様な世代）、インフラ巡りを通じた全国の移住希望者、中～高齢者、マニア（鉄道・撮り鉄等）、関係人口、道外観光客・インバウンド

Why なぜ

「彼ら」のために何をしたいか？

- ・一次産業や各種産業の担い手になる人材の発掘・育成を進めて地方創生（ここで働きたい・住みたい人）の振興
- ・初めて来訪する方への魅力発信・暮らしぶりやマナーの向上

実施体制

施策分野：食、観光
アクション：ひらがな「ふらの」の世界ブランド化

上川南部 A

地域の状況整理

Where どこで



概略
北海道の中心、山林主体で海がない（盆地）。
上富良野～占冠（1市3町1村）の経済圏。
観光資源が豊富～ラベンダーなど多量の農産物。

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。
高い農業生産と加工・外食による高付加価値化。圧倒的な「ふらの」ブランド、スキー、ラフティング、インバウンドによる観光需要の増加。
それらの観光需要を定住に誘導する必要がある。大学がなく若者の都市部への流出が見られる。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交通拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化・コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
高い農業生産と加工・外食による高付加価値化 農産物の加工による高付加価値化 ふらのワイン・オムカレー 観光系企業誘致の可能性	企業の地域創生の取組が高まっている 農産物の加工による高付加価値化 ふらのワイン・オムカレー 観光系企業誘致の可能性	圧倒的なブランド（農業・観光） ふらのブランド スキー・ラフティング 世界屈指のスキーリゾート 200万人規模の観光客の流入人口（観光地） インバウンド等による観光需要の増加 外国人観光客の増加 観光で来てもいい定住への誘導	演劇のまち 移住者多い 人材の多様性 自然塾		ゴミの分別 オバ・リズム 宿・物産UP 交通手段 改善 地球温暖化 大きな買い物は郊外に多い 雪かきを道外からの観光客イベントに アクティブに 物流コスト 冬の暮らし 冬を楽する 雪はね 運動になる（メタボ対策）	人口減少 人口流出 大学の流出 人材の流出 若者の都市部への流出 大雪 → 観光十勝各資源にも の暮らしづらさ 雪かきを道外からの観光客イベントに アクティブに 対人材流出の奨励制度 冬を楽する 雪はね 運動になる（メタボ対策）	人口減少 人口流出 大学の流出 人材の流出 若者の都市部への流出 大雪 → 観光十勝各資源にも の暮らしづらさ 雪かきを道外からの観光客イベントに アクティブに 対人材流出の奨励制度 冬を楽する 雪はね 運動になる（メタボ対策）	子育て・教育 市内に出る人が多い 人口減少 過疎化 離職 リニア開通 対人材流出の奨励制度 冬を楽する 雪はね 運動になる（メタボ対策）	福祉・医療

How どのように

具体的な活動

強みである農産物や農産品、ワイン、チーズなど、**既にある強みを生かして輸出を増やす**ことにより、富良野の名前、知名度を上げる

パイヤーとの交流、プレゼンの場を作るなど「**ふらの**」を知る機会づくり

様々な商品や場所において「**ふらの**」のロゴを**もっと利用してもらう**

日本のアニメのコンテンツ力を生かし、「ふらの」のキャラクターである「**へそ丸**」や「**トマビー**」などのキャラクターを活かして世界に発信

1～2年ぐらい

When いつ

10年

How どのように

目指す地域の姿

- ・長期滞在できるふらの
- ・ベース基地ふらの
- ・地元で雇用が増える→経済の好循環
- ・まず富良野をめざそうと思ってもらえる
- ・アニメの聖地

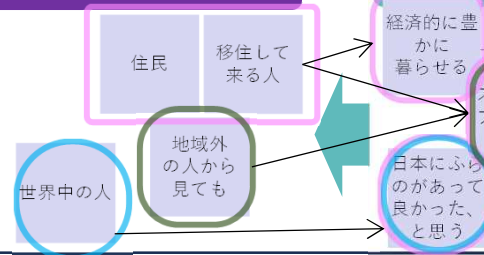
アクションプラン

Who だれが

- 主要メンバー
 - ・JA、民間業社（商工、宿泊）→生産、製造、使用
 - ・富良野他 5行政→トップセールス
 - 協力者
 - ・作家→脚本
 - ・様々な地域団体→ロゴの使用等
 - ・観光大使→歌
 - ・テレビ局→動画配信
 - 将来協力者（域内・域外）
 - ・教育機関→将来にやってもらう（子供）
- 〇〇実行委員会→（クラウドファンティング）

実施体制

Whom だれに



Why なぜ

のために何をしたいか？

- ・経済的に豊かに暮らせる
- ・スローライフを肯定できる
- ・都会で暮らすだけじゃなく豊かでない
- ・御当地アニメの世界に発信

ビジョン

施策分野：暮らし、安心・安全

アクション：外から人を呼ぶ×子育て支援プロジェクト～キーワードは「人」・人が支える富良野～

上川南部C

地域の状況整理

Where どこで



概略
旭川・札幌・帯広、周辺都市へ1～2時間で行ける。
JRと国道があって交通利便性が高い。
富良野ブランドが強い。

What なにを

概略
全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されている。
合併せず市町村ごとに個性があり、Uターン・の伸びしろがある。外資系ホテルの投資も多く、インバウンドによる観光需要が増加。それらの観光資源を市民に還元する方法を考えるべき。国道やJRなど交通の利便性を高める。スポーツ地域留学。ライドシェアの可能性。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交通拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化・コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
メロン アスパラ	(チーン 店は無い おいしい有 名店が多い)	まちなかの スキー場 (海外から 見た魅力) ファーム富 田 ネームバ リュー 11月末～GW スキーリフ ト営業して る インバウ ンド 観光資源で 市民に還元 する方法	合併せず市 町村ごとに 個性がある Uターンの びしろがある	リモート・職 場の選択	パウダース ノー 奥大雪山林 125周年(年 間1億木材 売)	国道・JR 交通利便性 札・旭・帯 と1～2時間 で結ばれる JR用地を再 開発できる 駅の裏と表 を平面でつ なげる 廃線跡を聖 地化 沿線住民は 静かな現地 でくらせる ライドシェ ア解禁	除雪がきれい 雪が楽	スポ ツ 地域留学に も貢献(カ ダ・カ リング・少 林寺)	富良野協会 病院から旭 川の病院へ

How どのように

When いつ

How どのように

アクションプラン

具体的な活動	まずやってみる					目指す地域の姿
	1年目 仕組みづくり	2年目 試行	3年目 検証・改善	4年目 検証・改善	5年目 検証、本格実践	
①海外向けプロジェクト ・特定技能実習生向け・外国人向けマッチング ・海外大学生インターンシップ研修	チームづくり 既存の人対象	→	→	→	海外外から 人が定住する	- 子供を支援 ⇒安心して結婚して子どもを作れる ⇒子供を第一に考えて、定着して住むようになる。 - 人と子どもが増えて、活気あるおもしろいフラノになっている
②独身者向けプロジェクト	→	→	→	→	→	
③子育て世帯向けプロジェクト	→	→	→	→	→	
④雇用の創出プロジェクト	→	→	→	→	→	

Who だれが

主体：まちづくり会社、富良野市、農協
看護学校、インフルエンサー

サポート：インターンシップ受入企業（海外）
農協金融（子育て）
JICA、JETRO、日本語学ぶ場、
海外大学の日本語学校、高速インターネット

ビジョン

Whom だれに

地域内	子育て世帯	単身世帯	元気な高齢世帯
地域外	特定技能実習生	海外大学生	子育て世帯のバックアップ

Why なぜ

ふつうなら都会に出る
富良野独自のものを
見出して
もらう
「彼ら」のために何をしたいか？
ジャストサイズの都市富良野で
元気に多様な世代が
おもしろく暮らして
もらいたい。
富良野独自のものを
思い出してもらいたい

施策分野：観光、暮らし
アクション：スローライフでデトックス体験プロジェクト

上川南部D

地域の状況整理

Where どこで



概略

【自然】美しい山々と川に囲まれた自然豊かな地域
【産業】農業、林業、観光業、アウトドア業など。【活動事業】道の駅特産品として、バイオマス生産組合がメープルシロップ、地域おこし協力隊がクラフトジンを製造。南富良野町にはアウトドアブランド「モンベル」の店舗がオープン。

What なにを

概略

全体的に「稼ぐ」と「暮らす」に満遍なく政策整理が記されており、ラベンダー、アウトドアなどの富良野ブランドを活かした商工観光により外貨を稼ぐ。暮らしの面では車移動前提の社会の不便さを楽しむ、少子高齢化もマンツーマン教育に力を入れられる、高齢者の知識を活用しやすいという発想の転換。

アクションプラン設計のための行政政策分野別整理シート									
産業振興「稼ぐ」地域づくり					生活基盤整備「暮らす」地域づくり				
産業振興		交流拠点整備			環境・ハード整備		教育・医療		
農林水産	商工	観光	文化 コミュニティ	雇用	環境	都市基盤	防災・安全	子育て・教育	福祉・医療
温暖化しても新しい種類の作物が採れる	富良野ブランドがある	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	
	アウトドアのまちとしてのブランドになる	観光客が多い （道の駅） 良いモノ・サービスが多い インバウンドが多い アウトドアのまちとしてのブランドになる	温暖化しても夏スポーツが楽しめる 非日常を楽しむ 観光客が増えている 外国人労働者は増えている 仕事には困らない	豊かな自然資源 外でBBQしやすいまち 雪まつりやスキー場での雪の活用 温暖化しても暖房費が下がって住みやすい 北海道のへそ 9割が湖と森林で大自然がある 不便を楽しむ人には好まれる	建設工事で需要UP 信号が少ないうからランニングができるまち オンラインショッピングしやすい環境 旭川十勝道路の敷設 車移動前提の取組を検討しやすい			マンツーマン教育に力を入れられる サイクリングしやすい環境 地域の独自の支援を行いやすい環境 高齢者の知識を活用しやすい 医療費が無料化で支障がない 公立高校があり、高校が地域活動に参加、アウトドア体験がある	

How どのように

When いつ

How どのように

具体的な活動	2025年	2027年	2029年	2030年	2040年	2050年	2055年	目指す地域の姿	
圏域プロジェクト協議会の設立・試算	声掛け 結成	売上等の管理・見直しの旗振り				実施し続ける・ 随時見直し		- 観光客が来る地域の方がいいよねと住民が思える - ホテル業の人手不足を圧迫しない - 日常を案内して地域の価値に変える・見つける - 住んでる地域を褒められる経験づくり - 観光関連業者以外の住民にも具体的なメリットがある - 魅力が見つかる→プレイヤーが増える循環 - 日本人口の0.01%でも地域に興味を持つ人を増やす - 最終的には圏域コンシェルジュ構想 - プロジェクト協議会に移住者が入ってくる - 移住者が移住者を呼ぶプロジェクトづくり	
地域住民・キーマン向け説明会		説明会実施							
ハード整備							整備実施・継続		
運営体制の整備		検討		実施					
体験者の窓口づくり・広報		検討	実施						
移住したいと思った人のフォロー		検討		実施					
プロジェクト実施 人口が増えて、生活が豊かになる経済圏形成！				実験			目標達成・継続		

Who だれが

主体：観光協会・商工会、若手農商工業者
地元重鎮、宿泊場所提供者、市町村
旅行関係者、地域おこし協力隊等
サポート：地元建設業者・広告代理店、
アイヌ協会、地元詳しい人、
国、道、信金、会計業者等

Whom だれに

- ・地域に住んでいる一般の住民
- ・デトックスしたい、都会に疲れている方
- ・田舎暮らしを体験したい人

Why なぜ

- 「彼ら」のために何をしたいか？
- ・地域内の生活に支障が出ないような経済圏をつくる
 - ・地域の住民が元気になる
 - ・地域外の人に日々の喧騒を忘れて健康になってもらう非日常的な機会
 - ・旅行だけではわからない地域の価値の理解